

令和2年度  
劇場・音楽堂等機能強化推進事業  
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)  
成果報告書

団 体 名	公益財団法人北九州市芸術文化振興財団	
施 設 名	北九州市立響ホール	
助 成 対 象 活 動 名	公演事業・普及啓発事業	
内 定 額 ( 総 額 )	26,982	(千円)
	公 演 事 業	21,488 (千円)
	人 材 養 成 事 業	0 (千円)
	普 及 啓 発 事 業	5,494 (千円)

(1) 令和2年度実施事業一覧【公演事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	響ホールプロデュース 3歳からの音楽会 (総合舞台芸術作品)	2020年6月27日(土) [中止]※	プログラム前半は和洋楽器による演奏、後半はノンバーバルをテーマに日中韓のパフォーマーとの総合舞台芸術を創作。	目標値	420
		北九州市立響ホール		実績値	0
2	響ホールリサイタルシリーズ ~アーティスト・イン・レジデンス~	①2020年5月30日(土) [中止]※、 ②2021年2月6日(土)、 ③2021年2月27日(土)	公演および楽曲解説を実施。 出演：②カルテット・スピリタス、 ③金子三勇士	目標値	405/ 公演
		北九州市立響ホール		実績値	481/ 2公演
3	0才からの親子で楽しむクラシックコンサート	2020年12月5日(土)	演目：クラシック、童話、読み聞かせ、他 出演：中川賢一、喜名雅、鶴木絵里	目標値	530
		北九州市立響ホール		実績値	278
4	2020北九州国際音楽祭 マイスター・アールト×ライジングスター オーケストラ	2020年10月3日(土)	演目：ベートーヴェン：序曲「コリオラン」op.62、他 出演：篠崎史紀、入江一雄、青木尚佳、他	目標値	620
		北九州市立響ホール		実績値	374
5	2020北九州国際音楽祭 マチネの終わりにコンサート	2020年11月14日(土)	演目：福田進一、朴葵姫、平野啓一郎 出演：バッハ チェロ組曲 第3番 BWV1009 より バリオス：大聖堂、他	目標値	450
		北九州市立響ホール		実績値	529
6	2020北九州国際音楽祭 プロデュース企画 (4公演)	①2020年10月22日(木) ②2020年11月8日(日) [③、④中止] ※	①演目：壇ノ浦、茨木 出演：奥村旭翠 ②演目：エルガー 愛の挨拶 op.12、他 出演：木嶋真優、横山幸雄	目標値	1,460
		①西日本工業倶楽部 ②北九州市立響ホール		実績値	511
7	2020北九州国際音楽祭 海外オーケストラ招聘企画	2020年11月5日(木)	演目：バレエ『ロメオとジュリエット』 出演：ウィーンフィルハーモニー管弦楽団、他	目標値	1,600
		北九州ソレイユホール		実績値	1677

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(2) 令和2年度実施事業一覧【人材養成事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	—			目標値	
				実績値	
2	—			目標値	
				実績値	

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

### (3) 令和2年度実施事業一覧【普及啓発事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	ワンコイン・シリーズ ~ アーティスト・イン・レジ デンス~	2020年5月~2021年 1月※(計4公演、う ち2公演中止)	ワンコインで聞ける「本格的なクラシ ック音楽」事業を通じて、新たな顧客層 の開拓を行う。	目標値	1,472 (368×4 公演)
		北九州市立響ホール		実績値	190
2	地域訪問コンサート ~ アーティスト・イン・レジ デンス~	2020年4月~2021年1 月※(計15回、うち4 回中止)	アーティストが施設を訪問し、演奏や トークによる触れ合いを通じて、音楽 を身近に感じてもらう。	目標値	参加者数: 1,080 (60/回)
		市内市民センター、 市内学校等		実績値	511
3	響ホールフェスティヴァ ル	2020年6月27日~ 28日[中止]※	0歳以上の子供とその家族向け企画。遊 びながら音楽に触れるコンサート。 出演:響ホール室内合奏団、他	目標値	入場者・ 参加者数 2,000 (うち、公 演500)
		北九州市立響ホール		実績値	0
4	ひびきつながるプロジェ クト	2020年10月~2021年 2月(計4回)	市内の企業・大学等と連携し、音楽を通 じたまちづくりや地域文化の振興を図 る。	目標値	参加者数 1,300
		北九州市立響ホール、 ココクル平野、JR門司 港駅		実績値	約600 (うち、コン サート・ワークシ ョップ 375)
5	2020北九州国際音楽 祭 教育プログラム(2事 業)	2020年10月9日(金) (計2回)	当音楽祭オリジナルオーケストラによ る弦楽アンサンブルで、訪問コンサ ートを実施。	目標値	400
		北九州市立西門司小学 校、愛光幼稚園		実績値	196
6	2020北九州国際音楽 祭 特別プログラム(3事 業)	2020年10月10日(土) ~11日(日)(計3回)	公開レッスン、トークショー、バック ステージツアー等を開催。 出演:篠崎史紀、他	目標値	720
		ステーションホテル小倉、 北九州市立響ホール		実績値	405

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

## 2. 自己評価

### (1) 妥当性

自己評価
社会的役割（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。
<u>社会的役割</u> 地域の一員として「人」と向き合い「人」とともに新しい価値の創造と発信を行う。
<u>地域の特性</u> 当ホールは JICA 九州や九州国際大学に隣接する国際交流エリアに位置し、多様な交流人口が生まれる可能性を持つ地域である。
<u>音楽事業に対するニーズ</u> 創造性の高い公演、海外オーケストラや世界的アーティストの公演、クラシックに馴染みがなくとも聴きやすい公演、未就学児入場可能な公演、子どもたちの育成、多くの人が音楽に親しむ機会の増加。  公演事業では、オリジナル作品創作や国内外のトップアーティスト公演など、通年で多岐にわたるラインナップを組み、普及啓発事業では、観客育成、地域との連携・協働などを目標に掲げ、訪問コンサートを実施した。いずれの事業もホールの社会的役割や地域特性に基づいた組み立てを行った。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止や延期になった公演も多く、開催の場合も収容率を制限するなど、当初の予定通りとはいかなかったが、開催時には感染予防対策を万全にし、可能な限り事業を進めた。
助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。
<u>文化的意義</u> 公演事業：作品創作や国内外のトップアーティスト招聘 人材養成事業：地域の文化発展に有用な専門人材の養成 普及啓発事業：ワンコイン・コンサート等での新たな聴衆の獲得や、各種講座による音楽に触れる機会の提供。
<u>社会的意義</u> 公演事業：質の高い公演の鑑賞機会の市民への提供、また、若い世代にも芸術性の高い公演が鑑賞可能となるよう 25 歳以下チケット料金設定や学生招待の実施、市域外からの来場による地域の賑わい創出 人材養成事業：音楽を通じた子どもたちの育成 普及啓発事業：公共ホールが地域コミュニティの中で果たす役割やその可能性を広げる活動が可能。
<u>経済的意義</u> 興行的には厳しい芸術性の高い作品創作や鑑賞機会の提供 チケット価格の安価な設定や、無料の訪問コンサートの実施 市域外からの来場による地元商業施設への経済効果の発生  いずれもホール単体の事業費では事業の規模や質の維持が難しく、助成に値する意義が継続して認められる。

## (2) 有効性

### 自己評価

目標を達成したか。

#### 公演事業

【目標】オリジナル公演創造で北九州ブランドを PR することで地域活性化につなげる、芸術性の高い公演鑑賞機会の提供、若者が芸術文化に触れる機会の促進、誰もが安心して来場できる環境づくり、公演鑑賞に伴う消費行動増加によるまちのにぎわいづくりへの貢献

オリジナルオーケストラ公演等により高い観客満足度を得られている。市域外からの来場者は近年 30%台で推移しており、芸術性の高い公演へのニーズに応えるとともに、サクソフォン四重奏など、クラシック以外の公演によりホール主催コンサートを初めて訪れる層の増加にもつながった。

また、地元大学との連携事業や公演への学生招待で若者が芸術文化に触れる機会を促進。多様なサポートが必要なお客様への理解と対応を学ぶカスタマーサポート研修を実施することで、安心して来場できる環境づくりを行った。

#### 普及啓発事業

【目標】響ホールをより身近に感じる人の割合を増やす、クラシック音楽に興味・関心を持つ観客を育成し音楽文化の振興を図る、誰もが安心して来場できる環境づくり、ホールへの来場が難しい方にも音楽文化を届ける、地域との連携・協働事業を通じてともにまちを創る仲間づくりを行う

市民センターや小学校、特別支援学校などで地域訪問コンサートを実施し、地域の多くの方に生の音楽に触れる機会を提供することができた。ワンコイン・コンサートはリピーターも多くシリーズとしてのファンを多数創出し、クラシック音楽ファンの裾野拡大につながっている。

ひびきつながるプロジェクトでは、近隣施設との連携事業を継続実施していく中で、それぞれの施設がもつノウハウを用い、八幡のまちでしか行えない文化の発信を行うことができた。また、令和2年度は八幡のまちだけではなく、他の地区（門司港エリア）にも広げ大学生との連携企画で事業を実施した。活動の範囲を広げることで、遠方や諸事情でホールに来られない方にも、ホールの役割を還元することができた。

### (3) 効率性

#### 自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

---

#### 公演事業・普及啓発事業

響ホール リサイタル・シリーズでは、本公演前に地域訪問コンサート（4～5回）やアナリーゼ・ワークショップを実施。新型コロナウイルス感染拡大防止のため本公演を中止したものを除き、開催時期・回数とも当初の計画どおりに実施することができた。0才からの親子で楽しむクラシックコンサートについても、本公演の2カ月前に地域訪問コンサートを当初計画通りに実施した。

いずれも、単発の公演にとどまらず一定期間地域に滞在したり、複数回地域を訪れたりして行う文化芸術活動を目指し、当初の計画に沿った適切な期間で事業を行うことができた。

国際音楽祭プロデュース企画では、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により公演の中止や出演者数の制限による演目の変更等を余儀なくされることとなった。当初の計画通りではないが、限られた状況の下、来場者、出演者の安全を確保するよう試み、できる限り事業を行った。

公演事業及び普及啓発事業においても、同理由については公演の一部が中止になるなど影響が生じた。

中止となった事業については、経費の変更が生じたが、実施した事業については概ね当初計画どおりに遂行し、アウトプットに対して事業期間、事業費とも適切であった。

## (4) 創造性

### 自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

響ホールは 1993 年に開館した席数 720 席のシューボックス型ホールで、残響時間約 1.8 秒（満席時）と日本屈指の音響を誇る。

当ホールのある八幡東区は近代製鉄発祥の地として日本の産業の近代化を支え、ホール内装には、地元企業に特注したステージを囲む波状のガラスや煉瓦が使用されている。ホールの響きは、その構造や材質のほか、風土や刻まれた音によって作られるとも言われるとおり、市内唯一の音楽専用ホールとして、年月をかけてここにしかない響きや空間が育まれてきた。

クラシック音楽、特に室内楽や声楽に適したホールとして、開館当初から多くの公演を重ね、北九州国際音楽祭の主会場としても使用されている。

また、近年では創作オペラ・オペレッタの上演や、ダンス×音楽のジャンル融合的な企画にも積極的に取り組み、実演芸術の可能性の広がりを見せている。

当ホールでは、「地域の一員として『人』と向き合い『人』とともに新しい価値の創造と発信を行う」というミッションを掲げ、その達成を目指すべく「開かれた音楽堂」「出会いの音楽堂」「地域と向き合う音楽堂」「安全・安心な音楽堂」の 4 つの運営理念（※）に基づき、各事業を実施した。

#### 【運営理念】

##### ○開かれた音楽堂

あらゆる人に開かれた運営、幅広い年齢層に優れた芸術文化を体験できる機会を提供

##### ○出会いの音楽堂

多彩な芸術文化との出会いを提供、芸術文化を通して人と人の出会いや交流を図る

##### ○地域と向き合う音楽堂

芸術文化を地域と一緒に育む、積極的に地域の活性化や地域の文化振興に取り組む

##### ○安全安心な音楽堂

ハード・ソフトの両面において常に万全の体制で取り組む、徹底した危機管理意識

公演事業では、0 歳から入場できるクラシックコンサート、地域訪問コンサートと本公演をセットにした滞在型事業、国際音楽祭での国内外のトップアーティスト公演など、地域で唯一の音楽ホールの特性を生かした上質な鑑賞事業を数多く実施した。

普及啓発事業では、ワンコイン・コンサート等、地域住民が気軽に音楽に触れることができる機会の提供のほか、地元企業や近隣大学との連携事業に長期的に取り組む、地域とともにあることを強く意識した事業展開を行った。

各事業を通じて、地域の文化拠点としての機能を大きく発揮することが可能となった。



## 自己評価

地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながった（と認められる）か。

響ホールでは、音楽事業やホールに対する期待、ニーズの把握のため、市政モニターアンケートや来場者アンケート等を実施している。

北九州国際音楽祭事業では、新たな聴衆の開拓や芸術・文化による地域の発展等のため、市政モニターアンケートを実施し、得られた結果をもとに5つの柱を定め、公演だけでなく、人材育成や普及啓発の観点を含む全体スキームにより企画・運営に取り組んでいる。来場者アンケートでは、複数回音楽祭を訪れた方が8割近く、また、音楽祭をまた訪れたいと思う割合も98%と非常に高い満足度を得ている。

### ■北九州国際音楽祭 5つの柱

- ① 北九州プロデュース企画による創造と発信
- ② 海外オーケストラを聴ける機会の提供
- ③ 質の高いクラシック音楽の鑑賞機会拡大
- ④ 未来を担う子どもたちに音楽を
- ⑤ 広く市民が音楽に親しむ機会を

また、響ホール事業でも、公演アンケートによる要望等をふまえ様々な公演を企画。未就学児も入場可能なコンサートを求める意見に応えた「0才からの親子で楽しむクラシックコンサート」では、チケット販売率が9割を超えるなど、例年好評を得ている。クラシック音楽はハードルが高いなどの声に応えたワンコイン・コンサートは固定ファンも多く、ホールの認知度向上につながっている。

その他、多彩な事業展開により、地域の実演芸術の振興や文化芸術の発展に寄与した。

## (5) 持続性

### 自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

#### 【職員、スタッフ人材育成】

当財団では、芸術文化の振興に関する事業に興味や関心、熱意がある人材を、経験の有無を問わず広く公募・採用し、「劇場、音楽堂等の事業の活性化のための取組に関する指針（平成25年文部科学省告示第60号）」を踏まえ、芸術文化事業の運営に必要な専門的能力や経験を有する優秀な人材の確保・育成に努めている。人材育成としてOJTのほか、響ホールと同じく当財団が運営している北九州芸術劇場との人事交流や研修等を実施している。

令和3年度には主任職を新設し、これまでの専門的人材の育成と合わせ、幅広い知識・経験・視野を持ったゼネラリストの育成を強化していく。

#### 【各方面とのネットワーク】

普及・啓発事業の「ひびきつながるプロジェクト」では、地元の大学や企業、公的機関と共に事業を企画し、連携して実施している。また、令和2年度は地元だけでなく、他の地区でも各団体と共に事業を実施し、更に連携先を増やした。今後もアートで地域をつなぎ、誰もが暮らしやすい街環境の拡充を目指していく。

#### 【収益基盤と財源確保の取組】

資金の確保について、これまでも各種所資金を含む外部資金の獲得に努めている。様々な主体との連携・協働では費用分担を行い、経済的負担の軽減を図っている。

また、公演事業・普及啓発事業におけるオリジナル作品創作や良質な鑑賞機会の提供の増加、クラシック音楽ファン層の裾野拡大が、将来的なチケット収入の増加につながっているものと考えている。

#### 【劇場・音楽堂等間のネットワーク形成】

音楽専用ホールである響ホールの特性と、劇場の有する舞台芸術や公演ノウハウなどをともに生かし、2拠点有する財団としての活動に更なる発展に取り組んでいる。

#### 【施設面】

響ホールは北九州市から指定管理者として指定を受け、施設の維持管理及び運営を行っている。平等利用、安全対策、危機管理などに留意しつつ、安定的な管理運営体制で日常的な管理を行っているところである。音響効果に優れた音楽専用の響ホールを、市と協議しながら管理及び運営にあたっており、施設の改修や修繕についても市の「公共施設マネジメント実行計画」に従って計画的に進めているところである。

引き続き、地域特性やニーズに沿った事業計画を立て、成果を検証しながら、地域に根差した音楽堂としての機能強化に取り組みたい。